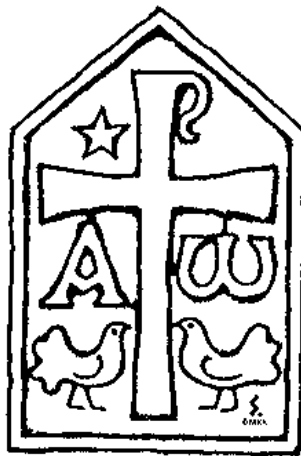


日本福音主義神学会

中部部会報第13号

<目次>

巻頭言 安村 仁志	1P
ギャップを超えて伝える（春季公開講演より） 鷹取 裕成	4P
「恵みとしての戒規」ルターの破門論の視座から （秋季公開講演より） 小形 真訓	11P
生きた人間の営みとしての神学：二つの国際学会に参加して 山崎ランサム和彦	17P
マクグラスの「歴史のイエスと信仰のキリスト」を読み解く 檀原 久由	22P
ルターの説教を読んで 松浦 剛	28P



(編集後記)

日本福音主義神学会の発足当時から、深く関わりを持ってこられた安村先生の働きを心から感謝申し上げます。中部部会の指導的な働きを続けてこられた先生の、多くの労苦や配慮があってこそ、この会が東海地域で根を張り、福音の真理と実践を大切にする先生方が起こされてきたことと思います。

春季と秋季における公開講演の講師、鷹取先生と小形先生の問題意識をもって取り組んでいる姿を学ぶことができました。説教のありかたは牧師の中心的な課題であり、戒規の問題は近年注目を集める話題となっています。その意味をルターから教えられ、学べたことは感謝でした。

神学校の校長として忙しい中にある山崎先生や、この会を長年にわたり支えている松浦先生の投稿に刺激を受けました。

読者の皆さまの投稿を心からお待ちしております。

(D. H.)

日本福音主義神学会中部部会報 第13号

2013年5月12日発行

編集者 檀原久由、東 正明

発行者 安村 仁志

発行所 460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター内

日本福音主義神学会中部部会

TEL/FAX 052-321-7516

郵便振替 「福音主義神学会・中部」

00850-8-84195